

昭和十三年一月十六日の政府聲明

帝國政府は南京攻略後尙ほ支那國民政府の反省に最後は最後の際會
を與ふるため今日に及べり。然るに國民政府は帝國の真意を解せず、
慢りに抗戰を策し、内民人塗炭の言みを察せず外東亞全局の和平を顧
みる所なし。仍て帝國政府は爾後國民政府を對手とせず、帝國と眞に
提携するに足る新興支那政權の成立發展を期待し、是と兩國國交を調
整して更生新支那の建設に協力せんとす。元より帝國が支那の領土及
主權並に在支列國の權益を尊重するの方針には毫もかはる所なし。

今や東亞和平に對する帝國の責任愈々重し。

政府は國民が此の重大なる任務遂行のため一層の發奮を冀望して止
まず。

0788